



地球環境と 社会・科学・技術

地球環境の大事さが日々話題となっています。学術会議では 20 期より環境学委員会が分野横断の初めての委員会として充足し議論をしてきました。環境学が非常に幅広い分野に関わる課題であることを再認識しているところです。本フォーラムを通じて、課題や今後の町づくり、自然との関わり、社会や科学技術のあり方、解決へのアプローチを広く見渡すことができればと思います。

13:00 開会挨拶 金澤 一郎 日本学術会議会長

第 1 部 基調講演

13:30-14:10 進士五十八 東京農業大学地域環境科学部教授・日本学術会議第 3 部会員
演題 「風景の目から環境の統合をめざすー生物多様性基本法から歴史町づくり法まで」

14:10-14:50 安井 至 国際連合大学名誉副学長・日本学術会議連携会員
演題 「温暖化抑制策と日本の責任」

第 2 部 パネルディスカッション

15:10-15:20 来賓挨拶 梅原 克彦 仙台市長

15:20-17:10 テーマ「地球環境と社会・科学・技術」

○コーディネーター

栗原 和枝 東北大学多元物質科学研究所教授・日本学術会議第 3 部会員

○パネリスト

進士五十八 「基調講演者」

安井 至 「基調講演者」

石川 幹子 東京大学工学系研究科教授・日本学術会議第 3 部会員

山川 充夫 福島大学学長特別補佐・経済・経営学類教授・日本学術会議連携会員

原 慶明 山形大学理学部教授・日本学術会議連携会員

魚崎 浩平 北海道大学理学研究院教授・日本学術会議連携会員

谷口 尚司 東北大学環境科学研究科長・教授

根井 寿規 経済産業省東北経済産業局長

17:10- 閉会挨拶 渡邊 誠 東北大学理事(研究・教育研究基盤推進・サイエンスパーク担当)・日本学術会議第 2 部会員

○総司会 野家 啓一 東北大学理事(広報・校友会・学術情報担当)・日本学術会議第 1 部会員

■日時:平成 20 年 12 月 19 日(金) 13:00 ~

■場所: **アークホテル仙台**

■主催:日本学術会議東北地区会議

入場
無料



担当部署
及び
申込先

日本学術会議東北地区会議事務局(東北大学研究協力部研究協力課内) 担当:佐藤、渡部

TEL:022-217-4840 FAX:022-217-4841

E-mail:kenkyo@bureau.tohoku.ac.jp

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kenkyo/forum.pdf>

共催:東北大学、弘前大学、岩手大学、宮城教育大学、秋田大学、山形大学、福島大学、宮城大学、東北学院大学、日本学術会議同友会東北部会

後援:宮城県、仙台市、(社)東北経済連合会、河北新報社、仙台放送局、TBC 東北放送、仙台放送、NHK 東日本放送、

東北大学グローバル COE プログラム「環境激変への生態系適応に向けた教育研究」、東北大学グローバル COE プログラム「流動ダイナミクス知の融合教育研究

世界拠点」、東北大学グローバル COE プログラム「変動地球惑星学の統合教育研究拠点」